



2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月14日

上場会社名 朝日インテック株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7747 URL <https://www.asahi-intecc.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮田 憲次
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 瑞穂 (TEL) (0561)48-5551
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第1四半期の連結業績(2024年7月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		のれん償却額等を除く営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	31,184	8.6	10,228	19.9	9,726	20.9	8,767	7.3	6,784	11.7
2024年6月期第1四半期	28,713	26.7	8,534	65.2	8,045	71.6	8,168	64.4	6,076	50.1

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 2,560百万円(△62.9%) 2024年6月期第1四半期 6,900百万円(50.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	24.98	—
2024年6月期第1四半期	22.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	179,238	148,978	82.7
2024年6月期	191,614	151,961	78.9

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 148,231百万円 2024年6月期 151,217百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	20.37	20.37
2025年6月期	—	—	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	0.00	—	24.23	24.23

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		のれん償却額等を除く営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	116,737	8.5	27,170	12.4	25,210	13.9	25,528	16.2	18,803	18.9
										69.22

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 のれん償却額等を除く営業利益=営業利益+のれん償却額等

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年6月期1Q	271,633,600株	2024年6月期	271,633,600株
② 期末自己株式数	2025年6月期1Q	7,977株	2024年6月期	7,955株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年6月期1Q	271,625,637株	2024年6月期1Q	271,625,688株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、現中期経営計画「ASAHI Going Beyond 1000」において、以下の4つの基本方針を定めており、これらの成長戦略を着実に進めていくことにより、更なる企業価値の向上を目指しております。

- ①グローバル市場の戦略的な開拓と患部・治療領域の拡大
- ②グローバルニッチ市場における新規事業の創出
- ③グローバル展開に最適な研究開発・生産体制の構築
- ④持続的成長に向けた経営基盤の確立

これらの戦略に則り事業を推し進めた結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は好調に推移し、下記となっております。

売上高は、継続した市場シェアの増加や、外貨高の為替影響などにより、主にメディカル事業が国内外共に好調に推移し、311億84百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

売上総利益は、売上高の増加や、売上総利益率の上昇に伴い、215億29百万円（同15.6%増）となりました。

営業利益は、米国の非循環器領域及び国内の新領域の販売強化を目的とした営業関係費用の増加や、研究開発費が増加するなどし、販売費及び一般管理費が増加したものの、97億26百万円（同20.9%増）となりました。

経常利益は、為替差損が増加するなどしたものの、87億67百万円（同7.3%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として貸倒引当金戻入額の計上があり、67億84百万円（同11.7%増）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における外国為替レート実績は、下記となります。

1米ドル＝149.63円（前年同期144.77円、比3.4%増）

1ユーロ＝164.22円（前年同期157.28円、比4.4%増）

1中国元＝20.84円（前年同期19.95円、比4.5%増）

1タイバーツ＝4.29円（前年同期4.12円、比4.1%増）

セグメントごとの経営業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「2 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）Ⅱ 当第1四半期連結累計期間の「2 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

また、セグメントごとの比較情報については、前第1四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（メディカル事業）

メディカル事業は、全地域において市場シェアが継続して増加したことや、外貨高の為替影響などにより、売上高は好調に推移し、増加いたしました。

国内市場は、循環器系領域の堅固さに加え、非循環器領域において末梢血管用の仕入製品が好調なため、売上高は増加いたしました。

海外市場は、循環器系領域及び非循環器系領域共に増加いたしました。

循環器系領域は、前期の第1四半期連結累計期間に欧州（東欧）地域の販売代理店から通期分の集中した受注（前倒し）が発生していたことに伴うイレギュラー的な減少要因があるものの、当該地域を除き、PCIガイドワイヤーや貫通カテーテルを中心に、売上高は大変好調に推移いたしました。非循環器系領域は、米国においてOEM取引が減少したものの、中国市場の脳血管系製品や、米国市場の腹部血管系製品が好調に推移したことなどから、売上高は増加いたしました。

以上の結果、売上高は282億5百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

また、セグメント利益は、101億90百万円（同27.0%増）となりました。

(デバイス事業)

デバイス事業は、産業部材は横ばいに推移したものの、医療部材の減少により、売上高は減少いたしました。

医療部材については、国内市場のロボティクス関係や、海外市場の米国企業向け循環器系超音波カテーテル部材の取引が減少いたしました。

産業部材につきましては、海外市場のレジュー向け取引が減少したものの、国内市場の建築関連取引や、海外市場のOA機器関連取引が増加するなどし、売上高は横ばいに推移いたしました。

以上の結果、売上高は、29億78百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

また、セグメント利益は、外部顧客への売上高の減少により、13億51百万円（同20.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、総資産額が1,792億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ123億75百万円減少しております。

主な要因は、現金及び預金が46億45百万円、受取手形及び売掛金が34億92百万円、商品及び製品が4億68百万円、仕掛品が13億円、原材料及び貯蔵品が5億41百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債につきましては、負債合計額が302億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ93億92百万円減少しております。主な要因は、長期借入金が11億74百万円増加した一方、短期借入金が35億29百万円、流動負債その他が58億69百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産につきましては、純資産合計額が1,489億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億82百万円減少しております。主な要因は、利益剰余金が12億51百万円増加したものの、為替換算調整勘定が41億86百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は好調に推移し、売上高・利益ともに当初予想を上回るペースで推移しておりますが、為替動向などの外部要因や、売上高の動向や、生産性の動向、費用投下の動向など、まだ不確定要素が多くありますので、2024年8月14日に公表いたしました業績予想は、据え置きといたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,658	31,012
受取手形及び売掛金	17,676	14,184
電子記録債権	1,913	1,970
有価証券	3,000	3,000
商品及び製品	9,282	8,813
仕掛品	12,298	10,998
原材料及び貯蔵品	7,763	7,222
その他	7,609	7,839
貸倒引当金	△505	△396
流動資産合計	94,696	84,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,585	31,236
その他（純額）	28,543	28,388
有形固定資産合計	60,129	59,625
無形固定資産		
のれん	6,910	6,316
その他	10,048	9,015
無形固定資産合計	16,959	15,332
投資その他の資産	19,828	19,633
固定資産合計	96,917	94,591
資産合計	191,614	179,238

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,289	2,309
電子記録債務	625	502
短期借入金	5,615	2,086
未払法人税等	2,683	2,109
賞与引当金	2,700	1,458
その他	15,580	9,710
流動負債合計	29,494	18,176
固定負債		
長期借入金	1,087	2,261
役員退職慰労引当金	19	19
退職給付に係る負債	2,851	2,918
その他	6,199	6,883
固定負債合計	10,157	12,083
負債合計	39,652	30,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,860	18,860
資本剰余金	21,779	21,779
利益剰余金	90,742	91,994
自己株式	△7	△7
株主資本合計	131,375	132,627
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,689	2,643
為替換算調整勘定	17,142	12,955
退職給付に係る調整累計額	9	4
その他の包括利益累計額合計	19,841	15,603
非支配株主持分	744	747
純資産合計	151,961	148,978
負債純資産合計	191,614	179,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2024年9月30日)
売上高	28,713	31,184
売上原価	10,088	9,654
売上総利益	18,624	21,529
販売費及び一般管理費	10,579	11,803
営業利益	8,045	9,726
営業外収益		
受取利息	33	25
受取配当金	3	3
為替差益	61	-
補助金収入	42	93
その他	89	83
営業外収益合計	230	205
営業外費用		
支払利息	87	144
為替差損	-	927
その他	19	92
営業外費用合計	107	1,164
経常利益	8,168	8,767
特別利益		
投資有価証券売却益	-	23
貸倒引当金戻入額	-	100
特別利益合計	-	123
税金等調整前四半期純利益	8,168	8,891
法人税、住民税及び事業税	1,672	1,950
法人税等調整額	376	142
法人税等合計	2,049	2,092
四半期純利益	6,118	6,798
非支配株主に帰属する四半期純利益	42	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,076	6,784

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	6,118	6,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△204	△45
為替換算調整勘定	996	△4,186
退職給付に係る調整額	△10	△5
その他の包括利益合計	781	△4,237
四半期包括利益	6,900	2,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,855	2,557
非支配株主に係る四半期包括利益	45	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取り扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取り扱いに従っております。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディカル事業	デバイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,591	3,121	28,713	—	28,713
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,397	3,397	△3,397	—
計	25,591	6,519	32,111	△3,397	28,713
セグメント利益	8,023	1,707	9,730	△1,685	8,045

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディカル事業	デバイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,205	2,978	31,184	—	31,184
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,896	3,896	△3,896	—
計	28,205	6,875	35,080	△3,896	31,184
セグメント利益	10,190	1,351	11,541	△1,815	9,726

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、従来「メディカル事業」および「デバイス事業」セグメントに含めていた一部の連結子会社の一般管理費を、組織拡大等に伴い報告セグメントに帰属しない一般管理費(全社費用)に含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	2,058百万円	2,337百万円
のれんの償却額	300百万円	309百万円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(1) 種類別の内訳

前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント		
	メディカル事業	デバイス事業	計
循環器	19,770	—	19,770
非循環器	3,634	—	3,634
OEM	2,187	—	2,187
医療部材	—	2,091	2,091
産業部材	—	1,029	1,029
合計	25,591	3,121	28,713

当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント		
	メディカル事業	デバイス事業	計
循環器	21,546	—	21,546
非循環器	4,658	—	4,658
OEM	2,001	—	2,001
医療部材	—	1,941	1,941
産業部材	—	1,037	1,037
合計	28,205	2,978	31,184

(2) 地域別の内訳

前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	メディカル事業	デバイス事業	計
日本	3,404	685	4,090
北米	5,119	1,252	6,371
欧州	6,682	105	6,788
中国	6,861	157	7,019
その他	3,523	919	4,443
合計	25,591	3,121	28,713

当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	メディカル事業	デバイス事業	計
日本	3,762	721	4,483
北米	5,445	942	6,388
欧州	5,716	122	5,839
中国	9,303	128	9,431
その他	3,978	1,063	5,041
合計	28,205	2,978	31,184

(重要な後発事象)

該当事項はありません。